

理科シラバス 中学1年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 理科Ⅱ	単位数 2 単位	学科・学年・学級 第1学年	使用教科書と補助教材 教科書：未来へひろがるサイエンス1（啓林館） 問題集：サイエンスワーク1・学習ノート1（啓林館）
学習の到達目標	身の回り自然に対する興味・関心を引き出すため、実物の観察や実生活中にも見られる現象の話題等を中心とした授業を行う。実験器具の基本的な操作技術を身につけさせる。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。<主体性・多様性・協働性> 科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。<思考力・判断力・表現力> 科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。<知識・技能>		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C : 「努力を要する」状況と判断されるもの
- D : 未提出、未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一学期中間	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none">・被子植物の花と果実の多様性と共通性を理解する。・実験を行う上で必要となる実験器具の名称、使い方、注意事項について学び、正しい操作方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none">・光学顕微鏡の使用方法、並びにプレートパラート作成方法について習得する。

一 学 期 期 末	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> 被子植物以外の植物について学習し、被子植物との相違点・共通点について理解する。 生物の分類方法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双眼実体顕微鏡の使用方法、並びにプレートパラート作成方法について習得する。 被子植物の雌しべ、雌しべの構造を実験を通して理解させる。
	いろいろな生物とその共通点 2章 動物の特徴と分類 活きている地球 1章 身近な大地	<ul style="list-style-type: none"> 無脊椎動物の多様性について理解する。 地層の堆積と堆積岩の種類について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ミジンコ等節足動物の観察。 チリメンジャコ等に散在する海洋生物の観察。
二 学 期 期 末	活きている地球 2章 ゆれる大地	<ul style="list-style-type: none"> 地震についての正しい理解を得る。 プレートの移動による地球表面の変化について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 震源の深さとプレート沈み込み図の作成。
学 期 末	活きている地球 3章 火をふく大地 4章 語る大地	<ul style="list-style-type: none"> 火山の形態の種類とその形成要因について理解する。 火成岩の種類と鉱物成分について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山灰と鉱物の観察。 火成岩の観察。
評価の観点及び内容		評価方法（具体例）	
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。<主体性・多様性・協働性>		実験・実習課題提出	
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。<思考力・判断力・表現力>		実験・実習課題提出、定期考查	
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。<知識・技能>		定期考查	